

海軍功績調査部長 殿

三十一号 功績調査部 第三號 八



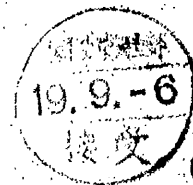
自昭和十九年五月一日
至昭和十九年五月五日

八月二十五日 送付

第二十五特別根據地隊戰時日誌

第二十五特別根據地隊

19.5



0694

目次

一、経過

二、人員、現状

三、令達報告等

四、参考

(一) 戦訓

(二) 敵機、未襲状況

(三) 潜水艦、出現状況

五、作戦経過概要

六、機関科、工作科、醫務衛生、會計経理

(終)

19
5

0695

一 経過

(一) 一般情勢

日軍ニ、ホーランドヤ、上陸ニ成功セル敵、相次イテ、コックステ、航空基地ヲ点據トシ、
 大機動部隊ヲ擁ニテ、内南洋即チ、コックステ、ガボン、ラオ、方面ニ對スル反
 攻ヲ、機ヲ現、ト共ニ、ニ、キ、北岸、ハ、進、攻、意、圖、極、メ、テ、敵、烈、ト、レ、リ、五、月、更
 日、ヒ、マ、ツ、ク、島、ニ、上、陸、ヲ、開、始、ス、ル、ト、共、ニ、敵、空、龍、ハ、急、激、ニ、積、極、化、シ、當、方、面、ノ、戦、況、
 次、第、ニ、海、發、艦、烈、ト、リ、ツ、ツ、ア、リ、之、ト、呼、應、ル、南、西、ニ、キ、マ、デ、レ、方、面、ノ、情、況、
 北、岸、ノ、戦、況、
 次、頻、繁、ト、シ、
 面、ニ、テ、敵、航、空、基、地、ノ、教、正、備、ハ、當、方、面、ニ、於、ケ、ル、補、給、ノ、困、難、ヲ、漸、増、シ、
 作、戦、局、急、迫、ニ、應、ジ、概、テ、左、記、任、務、ノ、遂、成、ニ、邁、進、セ、リ、
 (一) 担、任、區、域、ノ、防、備、整、戒、ヲ、最、ニ、陸、軍、部、隊、ト、協、力、シ、テ、確、保、ス、ル、ト、共、ニ、西、南、部、
 (二) 担、任、區、域、及、テ、州、ニ、對、ス、ル、策、線、據、点、ヲ、強、化、ス、
 (三) 担、任、區、域、
 (四) 各、連、綴、補、給、基、地、ヲ、整、備、シ、前、線、補、給、路、ヲ、確、保、ス、
 (五) 各、ガ、ラ、コ、中、心、ト、ス、ル、航、空、基、地、群、ノ、急、速、完、成、ヲ、圖、リ、進、攻、作、戦、ノ、據、点、ヲ、整、備、ス、
 (六) 今、後、ノ、作、戦、ニ、備、ヘ、現、地、ニ、於、ケ、ル、生、糧、品、生、産、整、補、給、物、資、ノ、貯、藏、獲、得、ニ、銳、意、
 努、力、カ、サ、シ、
 (四) 當、司、令、部、ハ、四、月、十、八、日、ヨ、リ、五、月、十、五、日、迄、四、南、道、司、令、部、ヲ、タ、ク、ワ、リ、進、出、不、在、中、
 一、時、ア、ン、ホ、ン、ニ、移、轉、ス、

0696

67

部々ラセ	隊部島離	部三南 一 ギ ニ 西 隊	部築城 隊
------	------	------------------------------	----------

R			R				R		官指部				
隊	長	20kg	先任	先任	長	冬防	7kg	先任	警備	警備	警備	警備	警備
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防
隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊
長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長
20kg	20kg	20kg	20kg	20kg	20kg	20kg	20kg	20kg	20kg	20kg	20kg	20kg	20kg
区域	区域	区域	区域	区域	区域	区域	区域	区域	区域	区域	区域	区域	区域

二、三、港灣施設、急速
 三、警備隊、防衛
 四、防衛
 五、作戦資料、蒐集
 一、警備隊、防衛
 二、海上交通保護
 三、敵艦船航空機、攻撃手
 四、偵察基地、急速整備
 五、補給基地、整備
 六、研習基地、整備
 七、作戦資料、蒐集

0698

(四) 兵力配備
別圖 第一

備考 一 本隊配備船機ハ情況ニ應ジテ各部ニ配属ス 二 特令ニ依リ各隊ヲ兵力ヲ指定シ他ニ轉用集中セシムルコトアリ 三 各兵力ハ目的地到着時ヲ以テ當該指揮官ノ指揮下ニ入ルトス	記事 一 五月十五日附ハ任務編制表ノイセラムニ依リ部隊中ニ十四通信隊ヲ殘シ他ノ全部ヲ三ノ六相指揮下ニ編入セラル 二 五月十五日附 二五防空隊 二十五特根指揮下ニ入ル	補給	隊	各船 大丸 五月九日 三 三 決吉丸 五月 五 七 支 通 船 其 他 附 属 舟 艇	縦長	七丸 飛 遣 十丸 ア 飛 遣 隊	補給 一 補給 二 飛 船 航 空 機 飛 遣 三 作 戦 資 料 集 集
		部	隊	縦長	七丸 飛 遣 十丸 ア 飛 遣 隊	補給 一 補給 二 飛 船 航 空 機 飛 遣 三 作 戦 資 料 集 集	

0699

三	三〇	三九	六	七	六	五	四	三	二	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日	区
																					鈴谷丸二
																					鈴谷丸二
																					鈴谷丸三
																					天城丸
																					大津丸一
																					新興丸一
																					交通船五
																					交通船七

出 進 未

上 全

上 全

上 全

事從務任送輸並給補面方島雜

上

全

上

全

能可不用使磯坐

71

勅諭 勅諭 勅諭 勅諭 勅諭

二十五特別根據地隊

軍極秘

自昭和十九年六月一日
至昭和十九年六月三十日

九月五日送付



第二十五特別根據地隊戰時日誌

第二十五特別根據地隊

19
6

0703

目次

一 経過

二 人員ノ現状

三 令達報告等

四 参考

(一) 戦訓

五 作戦経過概要

六 機関科工作科醫務衛生會計経理

(終)

19
6

0704

一 経過

(1) 般情勢 茲ニ敵情

物量ヲ恃ム敵總反攻ニ依リ今ヤ歐洲戦局竝ニ大東亞戦局ハ極ニ
重大ナル段階ニ進展セリ

西部ニシテ予テ了ラシクテハ既ニ「ホーランデヤ」
「ワグテ」^{航空}基地ヲ敷設備
セル敵ハ「ピアク」島守備ノ味方兵カト對峙シ儘更ニ同島航空基地ヲ
獲得之ガ擴張敷設備中ニシテ西部ニ「ギネア」味方各航空基地ヲ對ス
ル攻撃激化ト併行「ゲール」^{航空}「ウイニク」^{航空}「ノール」^{航空}「コラ」^{航空}島沿岸ノ綿密
偵察輸送妨害ヲ實施シ「ニエ」^{航空}「キネア」北岸進攻路推進ノ意圖ヲ露骨
ナラシメ當隊擔任區域ニマリテハ「バボ」^{航空}「ガガ」^{航空}被空襲頻繁トナリ
同地ノ補給ニ漸次困難ヲ加ヘツツアリ 南西部ニ「ニエ」^{航空}「キネア」^{航空}
離島方面ニ對スル敵空襲ハ比較的閑散ニシテ「コラ」^{航空}「ウイニク」^{航空}敵機其
中ノ微アルモ未ダ同方面ノ進攻企圖顯著ナラス

二 作戰 戦備

四月十日「ワグテ」航空基地築城方針變更セラル

四月二十日「ソロ」部隊一時ABニ編入セリ南西防備強化ノ為ニテ

司令部同地ニ移轉ス

0705

(ハ) 戦局急迫ニ應ジ概テ左記任務ノ達成ニ邁進ス

(ニ) 担任區域ノ防備警戒ヲ嚴シ陸軍部隊ト協力シ之ヲ確保スルト

共ニ西部及西南部ニニギヤテ於ケル第一線據兵ヲ強化ス

(三) 担任區域ニ於ケル制海權ヲ確保ス

(四) 西部「エトゴア」方面ニ於ケル防謀工作ヲ促進シ兵要資料ノ調査

蒐集ニ努ム

(五) 左記ノ線ニ沿ヒ各邊綴補給基地ヲ整備シ前線補給ヲ確保ス

(A) アンボン——ケイ諸島
アル諸島

(B) アンボン——コカス方面
タニバル諸島

(C) アンボン——カイマナ——ミミカ

(六) 今後ノ作戰ニ備ヘ現地ニ於ケル生産品生産並ニ補給物資ノ貯

藏獲得ニ鋭意努ム中ナリ

ニ 任務編制配備

前月ニ今

前月ニ今

二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二七	二六
	一八三三	一四〇	一〇	一〇〇七	一〇五七	一〇〇	一五	一六
ソロン	コカス	サガン	アマロナ	バボ	バボ	サガ	バボ	コカス
B 24 十 三 機	B 26 五 機	?	P 21 三 機	双 發 八 機	P 31 四 機	双 發 十 四 機	ググニス 二 十 七 機	B 24 三 機
個 数	三 〇 個	十 機	十 機	十 機	十 機	十 機	不 明	個 以 上
十	十	十	十	十	十	十	二 機	十
燃 料 若 干 焼 失 一 式 戦 斗 機 一 機	コカス地区に重傷者あり急襲 超底空ニテ コカス及びヒビエムニ空ヲ旋回投弾機銃 掃射ヲナス 被弾者兵舎一倉庫一全壊 兵舎半壊 舟火船一沈没ス	偵察機南東ニ去ル	空旋回偵察機東方ニ去ル	南西ニ空偵察機東方ニ去ル	約四ノ今川東北方上空旋回後東方ニ去ル 偵察機機銃掃射停止機銃力ノ甚クシ	ノ基地に投弾 其基地に焼夷弾 投下 火災 四ノ 鎮火ス	南西ヨリ超底空ニテ急襲 銃爆機銃ヲ ニニ地上砲火ヲ以テ退却ス 被弾者戦死兵一重傷一糧食一車ニ大 其基地に通信機短三短四 九五式送話機 機各一大破 重傷 五ノ 全焼失ス	敵北ヨリ西向ヒコカス上西方及ヒコカス 方面ヨリ編隊ヲ解キ急降下空旋回コカス 方面ニ對シ急襲三回銃爆機銃ヲナス 被弾者戦死兵五面戦傷兵一(防空壕内退避) 羽地人戦死二 木大發一 運貨船一 派 重油船一 破損 兵舎四 破損

0708

海軍功績調査部長 殿

二十五特別根拠地隊

ノ一。

軍極秘

自昭和十九年七月一日
至昭和十九年七月三十一日

九月 日送付

第二十五特別根拠地隊戦時日誌

第二十五特別根拠地隊

19
7

19.10.1
封入

0712

目次

一 終過

二 人員、現狀

三 令達報告等

四 參考

(一) 戰訓

(二) 敵機襲撃状況

(三) 潜水艦出現状況

五 作戰終過概要

六 機関科、工作科、醫務衛生、會計終理

(終)

19
7

0713

一 経過

(イ) 一般情勢並敵情

敵ハマリアナ方面進攻ト同時ニ西部ニミロギニア方面ニ對シテモ航空兵力
 及船舶ヲ集中シ後方指揮官ヲ逐次「ホーランドヤ」ワグデ」方面ニ進出セシム
 ルト共「ゲールサイング」湾周辺ニ強固ナル基地ヲ整備シ執拗ナル偵察
 行動ヲ實施中ナリシガ七月三十日双子島ニ上陸飛行場設置ヲ開始セリ
 コレ敵「ロニーギニア」北岸進攻意圖ヲ愈々明示スルモノニシテ漸次「ハラオ」
 「ルマヘラ」又ハ「菲島」方面ヘハ次期進攻ヲ準備中ナルハ大ニ警戒ヲ要ス
 當方面ニ對スル敵空襲ハ依然活潑ニシテ其意圖ハ航空基地ノ破壊
 並ニ補給遮断ニ在リ「ボボ」サガ」方面ニ連日強烈ナル來襲ヲ受ケ「ラウ」地
 峡通過「マッククル」ル「湾」内夜間哨戒機モ漸増シ全方面ヘハ補給輸送困
 難ヲ増加シツツアリ南西部ニアリテ「ハ」メ「ラウ」ケ」地區敵航空兵力漸増シ且ツ
 「ミカ」以南敵謀者ノ蠢動後ヲ断タザルニ不拘「カイマナ」レ「ケ」ワ」及「離
 島」方面ニ對スル敵機ノ來襲ハ稍々減少ノ傾向ニアリ

(ロ) 作戦戦備

(一) 重点防備強化、為當司令部及本隊ハ七月二十五日「アンボン」ニ移轉
 「ヤラム」地區ハ復ビ第五警備部隊ノ麾下ニ入ル

0714

(二) 概ネ左記任務、達成ニ邁進セリ

(1) 担任区域ノ防備警戒ヲ嚴シテ陸軍部隊ト協力之ヲ確保スルト共ニ西南
部ヲニューギニア及豪洲ニ對スル第一線據点ヲ強化ス

(2) 担任区域ニ於ケル制海權ヲ確保ス

(3) 西部ヲニューギニアノ方面ニ於ケル防諜工作ヲ特ニ促進シ兵要資料ノ調
査蒐集集ニ努ム

(4) 左記ノ線ニ沿ヒ各連絡補給基地ヲ整備シ前線補給路ヲ確保ス

(A) アンボン | ケイ諸島 | パル諸島
タニバル諸島

(B) アンボン | コカス方面

(C) アンボン | カイマナ | ミミカ

(5) 今後ノ作戰ニ備ヘ現地ニ於ケル糧品生産並ニ補給物資ノ貯藏
獲得ニ銳意努カス

三 任務編制配備

一 任務編制

兵力配備

別圖参照

<p>備考</p> <p>一 主隊配屬船艇ハ情況應シテ各部ニ配屬ス</p> <p>二 特令依リ各隊ヨリ兵力ヲ指定シ他ニ轉用集中セシムルコトアリ</p> <p>三 各兵力ハ目的地到着時以テ當該指揮官ノ指檢下ニ入ルモノトス</p>	<p>補給</p>	<p>隊</p>
	<p>記</p> <p>事 一 七月五日附ヲ以テ左記艦艇ハ二十五特根ニ編入セラル</p> <p>第五號掃海艇 一六六 三十四 三十五 驅潜艇 一四九 特設輸送艦</p> <p>六 小任務編制表中「セラム」部隊ハ二四一設營隊ハ七月七日「ムラ」ニ轉進ス</p>	<p>各船</p> <p>五月丸 三空丸 吉丸 其他掃海艇</p>
<p>補給輸送</p> <p>一 敵船艇航空機攻撃ヲ滅</p> <p>二 作戰資料ヲ蒐集</p>		

0718

二人員、現狀
 (小)職員官氏名

承命職務					隊	隊	隊	隊	參謀	參謀	參謀	參謀	司令官	職
	前月令	掌看護長	金醫長附	掌機長	第五拓南丸總長	第十七昭南丸總長	內務長分隊長	コカス 派遣隊長	機關參謀	通信參謀	通信參謀	首席參謀衛兵司令	主務	主務
大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	少佐	少佐	中佐	少將	官
木原敏三郎	永口	儀	山本	油田	挽地	田中	萩原	境野	篠木	島井	松田	栗林	小山谷	氏
		藤	政	義	正	荒	藤	達	富	富	護	亨	真三郎	名
		市	浩	市	雄	吾	一作	夫	藏	夫	護	亨	真三郎	記

(七月一日)

一部破損

0719

19.										7																						
三	二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一
衛護(丸靖神丸海台丸豊)團船										右										若鷹												
衛護(丸海台丸豊)團船										泊碇戒警湾ントービ										特務												
(部作工ニロー) 中 理 修										於ニヤバラス										特務												
中 理 修										於ニヤバラス										繪												
泊碇戒警										於ニヤバラス										丸												
泊碇戒警										中渠入タルカヤジ										日東十七												
泊碇戒警										中渠入タルカヤジ										日東十八												
泊碇戒警										中渠入タルカヤジ										拓南五												
泊碇戒警										中渠入タルカヤジ										昭南七												

0720

日分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一
矢佳
特務艇第一三號
特務艇第一二號
特務艇第一三號
特務艇第一六號
特務艇第一九號
特務艇第二〇號
特務艇第二四號
特務艇第二五號

0721

19
8

海軍功績調査部長殿

第二十五特別根據地隊

軍

自昭和十九年八月一日
至昭和十九年八月三十一日

第二十五特別根據地隊戰時日誌

第二十五特別根據地隊



0723

一 經過 目次

(別表 第一三三)

二 人員 現狀

三 令達報告等

四 參考

(一) 戰訓

(二) 寫真

五 作戰經過概要

六 機關工作 醫務 衛生 會計 經理

(終)

0724

経過

一般情勢並に敵情

敵ハ、オラオ方面並ニハルヘラ、フィリッピン方面へ、新企圖ヲ包蔵シ
 ツツ中、部大平洋方面ノ作戰準備ト呼應シテ、西部ニ主トキニヤリ
 方面ニ於テモ、航空機艦船ヲ集中、航空基地ヲ設營シテ着々戦備
 ヲ進メツツアリ
 當方面ニアリテハ、ブオーゲルツツ、北岸沿ヒ進攻、敵意欲心最顯著ニシテ
 又我カ敵軍備相任區域ニシテ、敵空襲ハ益々熾烈トナリ、敵ヲ指向ハ
 漸次西方ニ移リ、特ニサラム島、ガラパンホンハ連日多数機、爆撃及
 偵察ヲ受ケツツアリ、右外航路及沿岸日夜、敵哨戒ハ極メテ
 執拗ニシテ小艦艇機帆船ニ至ルマテ攻撃ヲ受ケ、當方面ノ海上輸送
 ハ益々困難、度ヲ加ヘツツアリ
 濠州方面ヨリ、敵來寇ノ企圖ハ未ダ感心知シ得ズ
 作戰戦備
 (一) 重點防備強化、為第十警備隊ノ大部及心算三千大設營隊ヲセラム
 部隊中ニ加ヘ、ヤンボレ島ノ防備ヲ益々強化ス
 (二) 概テ左記任務達成ニ邁進セリ

0725

25

兵力配備圖
別表 第一

記 事	備 考	補 給	部
		各 船	艇 長
一 各防空隊 八月五日附解隊 根據地隊及警備隊付ル 二 第七警備隊 八月二十一日、アムボンニ轉進ス	一 主隊配屬船艇ハ情況ニ應ジテ各部ニ配屬ス 二 特令ニ依リ各隊ヨリ兵力ヲ指定シ他ニ轉用集中セシムルコトアリ 三 各兵力ハ目的地到着時ヲ以テ當該指揮官ノ指揮下ニ入ルモトス	五月九	其他附屬舟艇
		補給輸送	敵艦艇機銃攻撃ヲ滅 三 作戦資料ノ蒐集

0729

										日										分																					
三	二	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十
業作強補理修饅 期待圖船航北										回ニ保世 (島、理修饅)										拓第持	南南役	航航																			
泊碇戒警										一護丸										昭	第	南	航																		
港ノホニア 為碇戒警										我哨口灣										灣	第	南	航																		
泊碇戒警										我哨口灣										灣	第	南	航																		
依リ船ニ編入										出渠										港ノホニア	第	南	航																		
ハカリサル發										ノ為ノ天荒										港ノホニア	第	南	航																		
中理修備整										於ニ部作工軍落ニ										第	南	航																			

(其ノ二)

